北九州市立男女共同参画センター
ムーブ 情報誌 ムービング

Moving

vol.59

ジェンダー開発指数（GDI）

第1位
オーストラリア

第14位
日本

第19位
アメリカ

Moving eye

ジェンダー開発指数（GDI）とは…

平均寿命、教育水準、国民所得を用いて、それぞれを男女格差に従って調整した指数。「ジェンダー不平等を調整したHDI（人間開発指数）」と言える。

出所：国連開発計画（UNDP）『人間開発報告書2009』

CONTENTS

- 新年のご挨拶
- 講座実施報告
- 平成21年度 男女共同参画講座案内
- 平成21年度 誌上講座第4回
  「特性」から「適材適時適所」へ　奥山和弘
- 第３回 北九州市ワーク・ライフ・バランス表彰
- 第20回 アジア女性会議報告
- レディスもじ・レディスやはたからのお知らせ
- 「夫は外で働き、妻は家庭を守る」という考え方について（北九州市、全国）

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。皆様には新たな気持ちで新年を迎えられたことと思います。
今年7月でムーブは開所15周年を迎えます。今後とも皆様のご期待に沿えるようスタッフ一同鋭意努力をしてまいりますので、どうぞ変わらぬご指導、ご鞭撻をいただけますようお願い申し上げます。
皆様の一層のご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

北九州市立男女共同参画センター“ムーブ” 所長　吉崎　邦子

ムーブ女性起業家支援塾2009

日　時　平成21年 11／7(土)・8(日)・14(土)・21(土)・22(日) 10:00～17:00
場　所　ムーブ5F　大セミナールーム

「ムーブ女性起業家支援塾」を上記の日程で開催いたしました。
24名の女性が、コーディネーターの佐々木 茂氏(有限会社ジャンクション代表取締役)を始めとする様々な専門の講師の方から、起業に必要な基礎知識や融資制度などについて学びました。また、事業計画書の作成や、当塾修了生との座談会など盛りだくさんの内容を受講しました。
5日間にわたる講座の中で受講生同士や講師の方々との間に多くの交流が行われ、最終日には、受講生全員にムーブ所長より修了証書が手渡されました。
講座を終えた受講生からは、「参加者の意識が高くとても良かった」「不安にかられていた気持ちが前向きになった」「具体的な計画を立てることができた」などの感想が寄せられました。
起業をめざす女性にとってそれぞれの夢を後押しする有意義な講座となりました。

男 おとこのライフセミナー

男女共同参画の実現のためには、男性も家庭、地域社会などにより積極的に関わることが求められます。
しかし、「夫は外で働き、妻は家庭を守る」という考え方は依然として根強いものがあります。また、男女の結婚年齢が年々上昇し、結婚率は年々減少している現状もあります。
そこで「婚活」を主テーマに様々な分野で活躍される男性講師をお迎えし、その体験や生き方などを講演していただきました。

コブつきオジさんのひとりごと
～女性は育児や家事に向いている、男性は仕事に向いている、男性は強い、女性はかよわい それって本当!?～

平成21年12月5日(土)
14:00～16:00

講師　奥山　和弘(おくやま かずひろ)氏
(静岡県立掛川西高等学校　副校長)

【報告】共働きだったため、奥山家では家族全員に家事の役割分担があった。その経験から『コブつきオジさん』という作品が生まれた。育児を通して学んだことは多く、子どもとのつながりもますます深くなった、などお子様とのエピソードを交えてお話しいただいた。参加者の笑いや時には涙を誘う講演内容だった。

主夫でもいいじゃん
～専業主夫になってもいい男性3割!?～

平成21年11月20日(金)
18:30～20:30

講師　中村　彰(なかむら あきら)氏
(とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ　館長)

【報告】ジャーナリストを経て、すてっぷ館長に至るまでの豊富な経験から、「多様な生き方を認めることが大切である。その1つに、主夫という選択もある。しかし、主夫だけを一生していくのではない。また、主夫の役割を担うには、先ず生活力を身につけることが大切である」と、ご自身の介護経験などを織り交ぜながらお話しいただいた。

婚活のためのモテ講座
～未来のパートナーをゲットしよう!!～

平成21年12月11日(金)
18:30～20:30

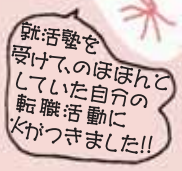
講師　大橋　清朗(おおはし きよはる)氏
(結婚コンサルタント)

【報告】婚活に1番大切な事は相手とのコミュニケーションであり、その能力を上げるほど良い出会いがある。中でもアイコンタクトが大切。また、第一印象で判断されるので、特にライフスタイルが表れる服装、表情は重要ポイント。まず自分自身を磨く努力が必要と、ご自身の婚活経験なども交えての楽しい講演となった。

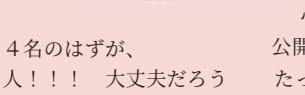
就活塾日記

ムーブの就活塾

● 日時 平成21年
9月 20日(日)10:00〜13:00
26日(土)10:30〜16:00
27日(日)10:00〜17:00
10月 3日(土)、4日(日)、10日(土)
10:00〜17:00
11日(日)10:00〜17:30
● 場 所
大セミナールーム



①応募した動機
派遣切りされる
という状況に
「どうしようかな」という受身の状況。そこへ、会社から切られた経験のある知人が「これいいと思うよ」と、『ムーブの就活塾』を勧めてくれました。
「お金を取られるだけじゃないのかな？」との不安もあったけれど、尊敬する方からの紹介だし、素直に信じて行ってみようと!!



② いざ、初日
講座初日、定員２４名のはずが、
何とたったの７人！！！　大丈夫だろうか・・・
でも、少人数の方が私向きだ。先ずは、自己紹介からスタート。普通に考えていたら、いきなり隣の人にインタビュー。そして、その方を紹介することに。びっくり。
参加者の状況は様々、年齢もバラバラ。
だけど、何か模索して、突破口を探していることは共通した思いかな。何といっても、この初講義で、私の心はわしづかみにされました。おもしろい、なんかワクワク。
こうして、ドキドキ・緊張の就活塾daysがスタートしたのです。

③ 小島貴子先生の公開講座とワークショップ
（立教大学大学院 ビジネスデザイン研究科 准教授）
小島先生のこれまでの道のりや、仕事に対する心意気、家族への思い・・・。
公開講座は一般の方に混じっての受講。
たったの２００円で大変お得な講座でした。
そして、受講生だけの特権 !!!　ワークショップの始まりです。ここでは自分にとって譲れない条件に優先順位をつける、毎日実践できる就活の知恵などを教えていただきました。目先のことだけでなく、それを未来につなげていけるような計画を練る。或いは、夢に向かって今何ができるのか。遠いようでも小さな一歩がなければ何も始まらないことがよくわかりました。そして、小島先生が口がすっぱくなるほど繰り返していた言葉は「口に出して言うこと!!」でした。
大切なことは、口コミ。もう、やりたいことがあるのならバンバン言いましょう!! ハイ、せ〜の。

④ カリキュラムについて
★今、役立つこと
講義の中には、仕事の価値観や環境分析、自分の求める職を考える時間がありました。また、自分自身を見つめ直すことにより、今までと違って、履歴書の自己ＰＲや応募動機、職務経歴書がきらりと輝く内容になりました。また、面接の練習は、その様子を録画することにより、自分の姿を客観視できました。そして、何より「企業に選ばれる」より「企業を私が選んでやるぞ!!」という気持ちを養うことができました。
★働き出して役立つこと
コミュニケーションやモチベーション、そして、自分の感情や行動をコントロールするという講義は、職場でかなり役立つ内容だと思います。
仕事仲間に対して言葉を選んで会話をする、どんなタイプの人なのかを想像することは仕事を円滑に進めるために必要なことだと感じました。
また、職場だけでなく社会生活の中でもとても役立つと思いました。是非、活用したいと思います。

⑤ そして、最終日。講座を受けての変化
いよいよ最後の日がやってきました。
修了証書と、講師の先生からの一言をいただきました。(感激)
私自身、就職活動の経験が無く、今までは手探りの状況でした。ひょんなことから、この講座に参加することになって就活の1から10までを教わった気がします。
自分自身で切り拓いていく!!挑む!!! ことが大切だと思います。私は、講座後に2つの企業にアプローチしました。
指示された仕事をするだけではなく、業界のことを根こそぎ聞いてやるぞと思い、結果は「不採用」でしたが、面接の最中に、業界のことを根こそぎ聞いてやるぞと思い、面接官を質問攻めにしました。面接途中で“落とされるな”と感じてした行為ですが。(ハハ!!)
このような貪欲さも、この講座で得た大事なものだと思います。
そして、ここで出会えたメンバーは、私にとって、何か、特別な、喜ばしい宝物となりました。
いつかまた、「あの時はああだったね〜」なんて、お茶でも飲みながら話したいな。
みなさま、ありがとうございました。

文・イラスト　山田 沙織

託児サポーター支援講座

「自分の体力年齢を知る」の講座風景（ムーブ　フィットネスルームにて）

ムーブでは子育て中の男女が学習や研修事業に参加できるように、施設内において託児サポーターによる託児を実施しており、多くの方にご利用いただいています。

毎年「託児サポーター」として活動している方々を対象に、託児に必要な最新の知識や情報を習得するための講座を開催しています。

今回は「楽しい託児」「子どもの遊び」の講義と、「自分の体力年齢を知る」実技を行いました。

女性への暴力ゼロ運動

「ストーカー被害への警察の対応と支援について」の講座風景

内閣府の「女性に対する暴力をなくす運動」（11月12日～25日）にあわせて「女性への暴力ゼロ運動」を展開しました。

DV被害者、ストーカー被害者の約9割が女性という現状から、DVやストーカー、セクシュアル・ハラスメントなど、女性へのさまざまな暴力をなくすため、パネル展示や特別講座を実施しました。

まず、11月21日の特別講座では、小倉北警察署員（生活安全課　矢野直子氏、総務第二課　警察安全相談係長　門司裕樹氏）による「ストーカー被害への警察の対応と支援」、また、小倉知子弁護士による「ストーカーに対して法的にできること」についてのお話がありました。

11月24日の「女性への暴力ゼロホットライン」では、福岡県弁護士会北九州部会との共催でDVやセクシュアル・ハラスメントなど女性への暴力に対する電話相談を女性弁護士が直接受けました。

中国・大連市 韓国・仁川市から 訪問団来館

2009年9月29日中国・大連市婦女連合会の副主席を始め、約50名の方が来館されました。

2009年11月11日韓国・仁川市社会福祉協議会の専務理事を始め、11名の方が来館されました。

平成21年度 男女共同参画講座

毎年さまざまなテーマを取り上げている男女共同参画講座。今年度は、「どう立ち向かう－格差社会と生活困難」というテーマで行います。

●「どう立ち向かう－格差社会と生活困難」

各講座共通

会　場　ムーブ5F 大セミナールーム

時　間　14:00～16:00

参加費　200円

皆さんのご参加をお待ちしています

第1回 1/30(土)

どうする？？

「雇用」

－ 男の非正規と男女間格差 －

講　師　大竹　文雄（おおたけ　ふみお）氏
（大阪大学社会経済研究所教授）

京都大学経済学部卒。専門は労働経済学、行動経済学。著書に『労働経済学入門』（日本経済新聞社 1998年）、『格差と希望』（筑摩書房 2008年）など多数。

『日本の不平等』にてサントリー学芸賞2005年度政治・経済部門受賞。

第2回 2/27(土)

どうする？？

「教育・キャリア形成」

－ 所得格差がつくる教育格差、
不安定雇用が絶つキャリア形成の道 －

講　師　小杉 礼子（こすぎ　れいこ）氏
（労働政策研究・研修機構
人材育成研究担当 統括研究員）

主に「学校から職業への移行期」に関する調査研究を担当している。著書に『フリーターという生き方』（勁草書房 2003年）など。労働政策審議会臨時委員、社会保障審議会臨時委員、中央教育審議会臨時委員（生涯学習分科会・大学分科会）。

第3回 3/6(土)

どうする？？

「自立困難の世代連鎖」

－ 女性・男性・外国人・子ども －

講　師　山田　昌弘（やまだ　まさひろ）氏
（中央大学文学部教授）

東京大学文学部卒。専門は家族社会学。「パラサイト・シングル」の生みの親で、「婚活（結婚活動）」の名付け親でもある。

著書に『パラサイト・シングルの時代』（ちくま新書 1999年）、『希望格差社会』（筑摩書房　2004年）など多数。内閣府男女共同参画会議議員。

【お申し込み・お問い合わせ】　ムーブ事業課　TEL.093-583-3939　FAX.093-583-5107

平成
21年度

誌上講座

Profile

奥山 和弘（おくやま かずひろ） 静岡県立掛川西高等学校副校長

1954年生まれ、静岡県出身。現在、静岡県立掛川西高等学校副校長。

【著書】
『一寸(ちょっと)ちゃんがゆく』(1998年自費出版)
『「男だてら」に「女泣き」』(2003年文芸社)
『ジェンダーフリーの復権』(2005年新風舎) など。

第4回 「特性」から「適材適時適所」へ

1 「特性を生かした男女共同参画」というワナ

先日、男女共同参画の推進について意見を交わす会合があり、自治会長や町内会長が男性ばかりだということが話題にのぼった。私は藤枝市(静岡県)の取り組みを紹介した。同市では、年間10回ほどの講演やグループワークからなるモデル地区事業を平成12年度からローラー的に展開してきた結果、今年度には、同時に2人の女性町内会長が誕生している。また、今年度の指定地区では、地元の神社の祭典実行委員長に初めて女性が選ばれたという。

ところが、その席で、ある女性の出席者から「男女共同参画は、すべてを男女が同じにやるということではないと思う。性別というものがあり、それぞれに適した役割もある。自治会長はやはり男性がふさわしい」という発言が出された。その女性は、ある組織のリーダー的な立場におられ、だからこそ、その会合のメンバーに加わっておられたのだが、そういう方からこのような発言が出たことに、少なからず驚いた。

これは、いわゆる「性別特性論(以下、特性論)」に、人がいかにとらわれやすいかということを物語っていよう。先に行われた静岡県知事選挙でも、女性の候補者が「女性の目線で」ということを強調していたが、その言葉にも、私は似たような危うさを感じた。だが、私が最も警戒するのは、「男女共同参画にはもとより賛成です。しかし、男女がそれぞれの特性を発揮し、補い合って、共に築いてゆくのが真の男女共同参画社会だと思うのであります」などと、まことしやかに公言する人たちの存在である。人の心の無防備な部分に付け入るようなこの甘言は、男女共同参画の理念を内側から崩しかねない。

2 「特性」というフィクション

そもそも、「特性」とは、「その人(もの)だけが持っているすぐれた能力や性質」のことである。仮に、ある資質や能力を「女性の特性」と呼ぶとすれば、それは女性特有の資質・能力ということであり、それを持つ男性はいないということが前提だ。

ところが、「女性の特性を生かして」という文脈で語られるのは、しばしば「繊細さ」や「気配り」であったり、「生活者の視点」であったりする。もちろん、それらを備えた男性も世の中にはたくさんいる。昨年度の本校卒業生の調査書の中には、男子生徒について「細かいことにもよく気がつく繊細さも持ち合わせている」と評した所見があった。野球部の生徒である(ちなみに本校は野球の伝統校)。「繊細さ」は女性だけの美徳ではない。

つまり、言葉の正しい意味で「男女の特性」と言える資質・能力は、生殖などにかかわる極めて限られたものであり、世に漠然とイメージされている「男女の特性」なるものの大半は、「平均値や傾向としては認められる違い」(前号参照)を一般化したフィクションにすぎないと言えよう。

ただし、この言葉をそんなに厳密に使う必要はないという意見があるかもしれない。だが、仮に「繊細さ」「気配り」「生活者の視点」などが「平均値や傾向としては認められる違い」であったとしても、それらをひとたび「特性」と呼んでしまえば、それらが女性に固有の資質・能力だという誤解を生むことは避けられない。さらには、それらをすべての女性が持っているかのような錯覚まで生んでしまう。事実、そのようにして「特性」という言葉は固定的性別役割分担を正当化する役割を果たしてきた。それが「言葉」というもののもつ怖さである。

男女共同参画社会は、特性論とは相容れない。むしろ、「特性」というフィクションから自由になるためにこそ、「ジェンダー」という言葉が必要とされたのだと言える。「男女の特性を生かした男女共同参画」などというレトリックは、固定的性別役割分担への回帰をもくろむ者の詭弁の中でしか意味をなさない。

3 「適材適時適所」というイメージ

人が特性論に足をすくわれてしまうのは、男女共同参画社会のイメージがうまく説明できていないからでもあろう。そこで、私自身は「要するに、性別だけによってあらかじめ仕事や役割が振り分けられるのではなく、男女を問わず、文字どおりの適材適所が果たされている社会です」と説明することにしている。

「適材適所」というよく知られた言葉を使うことで、「そういうことだったのか」と理解が飛躍的に深まるという感触を得ている。既存の知識と結びつくことが、「分かる」ということだからだ。

なお、その「適所」も固定的でなく、状況に応じて柔軟にという意味で、「適時」を加えてみた。「適材適時適所」。動詞の活用変化のような語呂のよさもあって、なかなかいい感じではないかと、ひそかに悦に入っている。

第３回「北九州市ワーク・ライフ・バランス表彰」受賞企業等が決定!!

少子高齢化社会において、子どもを生み育て、男女がともに働く喜びを感じることができる社会環境の実現は、企業と行政が共同で取り組むべき重要な課題です。ワーク・ライフ・バランス実現のため、本市では、子育て支援や男女がともに働きやすい環境づくりに取り組む企業と個人を表彰し、その取り組みを広く皆様に情報提供しています。

この度、第３回の表彰企業等を決定し、11月26日（木）に表彰式を行いました。

受賞者の皆さまと北橋市長

表彰された企業・特徴的な取り組み

市長賞　社会福祉法人 北九州市手をつなぐ育成会

業種:社会福祉事業　職員数:170名（うち女性88名）

● 「職場環境日本一」を目標に現場と一体となって取り組む環境づくり
適切な労働時間管理のための残業管理委員会による話し合いや職場訪問等の活動実績。
職場環境の改善・向上を目指し、残業問題や育児休業制度のアンケートを全職員に実施。

● 育児・介護休業制度の充実と実績
育児休業・介護休業中の給与の一部支給、育児短時間勤務・介護休業の期間延長等の法定以上の規程を独自に設定。介護休業に関して、管理職の利用実績もあり。

市長賞　株式会社　新　　菱

業種:製造業（化学）　従業員数:595名（うち女性47名）

● 企業風土形成のための活発な周知啓発活動
ワーク・ライフ・バランス通信や社内報による周知啓発活動等、風土形成のための継続的な働きかけ。

● 「両立支援プロジェクト」の設置・活動
各職場従業員代表と総務人事部により構成。働きやすい職場環境と、子育てを含めた生活の充実のための積極的な活動。

● 雇用形態に関わらない育児・介護支援の制度・実績
パート等の契約社員を含め育児休業取得ができ、取得実績もあり。

奨励賞　コンダクト 株式会社

業種:不動産業　従業員数:25名（うち女性10名）※グループ合計

● トップのリーダーシップによる働きやすい職場環境づくり
週単位での労働時間管理による長時間労働の防止。
子育て中の従業員の勤務時間における柔軟な対応等、従業員の個別の事情にあわせた制度運用。

奨励賞　株式会社 不動産中央情報センター

業種:不動産サービス業　従業員数:100名（うち女性39名）

● 「女性活性化推進プロジェクト」の設置・活動
トップも参加し女性管理職の登用を目指したキャリアアップ支援などの積極的な活動。

● イベント（こども参観日）やパパ＆ママブログによる社内の子育て応援活動

表彰された個人・特徴的な取り組み

市長賞　籠田修一　籠田淳子夫妻

（有）ゼムケンサービス（建設業）

● 夫婦共同で子育て、地域活動に取り組みワーク・ライフ・バランスのとれた生活を実践している
夫婦でお互いの仕事のスケジュールや得手、不得手により柔軟に家事を分担。妻の社長業を夫が支え、子育てにも積極的に関与。保育園から小学校まで9年（継続中）に渡り、夫婦どちらかが保護者会やPTAの役員を務める。経営者である妻は、「あなたらしく・わたしらしく」をモットーに子育てしながら働きやすい職場環境の整備に力を注ぎ、社員のPTAの行事や地域活動への参加を後押ししている。夫は保護者会などにおいて父親の参加を呼びかけ、参加者を増やすなど、周囲の父親をリードし、よい影響を与えている。

(財)アジア女性交流・研究フォーラム(KFAW)からのお知らせ

●第20回 アジア女性会議ー北九州
「現在、世界の女性たちは～北九州から世界を視る～」を開催

アグネス・チャンさんによる基調講演

11月28日、29日の2日間にわたり、のべ約700名の方が参加されました。

28日は、女性差別撤廃条約をテーマに基調講演及びパネルディスカッションを、29日は、KFAW研究員による研究報告と、ユニフェム(国連女性開発基金)北九州主催による「DV(ドメスティックバイオレンス)根絶のためのシンポジウム～今、あなたにできること!!」を開催しました。

国連が女性差別撤廃条約を1979年に採択して30年が経過したことを受けて、女性に対するあらゆる差別をなくし、男女共同参画社会の実現に向けて、世界はどのように取り組んでいるのか、日本は今後どのように進むべきなのか、そして私たち1人ひとりはどうすればよいのかを参加者の皆さんと一緒に考えました。

詳細は、3月発行の『Asian Breeze』で紹介する予定です。ご期待ください。

●世界の女性の現在(いま)を知る　『Asian Breeze』最新号発刊

女性への暴力撤廃に向けた世界の動きや、ミシェル・オバマ米国大統領夫人を取り上げ女性の社会進出について考えたサマーセミナーの報告、ユニフェム日本国内委員会の地域等委員会として活動しているユニフェム北九州の設立15周年記念事業の紹介など、話題満載です。北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”で入手できます。

定期購読を希望される方は、下記までご連絡ください。(年3回発行、日本語版と英語版があります。)

日本語版
『Asian Breeze 第57号』

お申し込み・お問い合わせは (財)アジア女性交流・研究フォーラムまで　TEL.093(583)3434　FAX.093(583)5195

レディスもじからのお知らせ

男女共同参画事業　「働く人のための・カンタン! おいしい! お弁当レシピ」講座

おいしいお弁当作りにチャレンジしませんか？　手早く、栄養バランスのとれたレシピを大公開!! お弁当のつめ方のコツも伝授します･･･

日　時　平成22年 2月6日(土)・20日(土) 18:30～21:00(全2回)
講　師　管理栄養士　吉積　秀子氏
対　象　北九州市内在住または在勤の方(学生は除く)
定　員　16名(先着順)
受講料　無料(但し、教材費1,300円)
託　児　あり(1歳以上就学前まで) 申込み時にご相談ください。
申込み　ただ今受付中。

パソコン講習会　エクセル応用「マクロ」

マクロの基礎と効果的な活用方法などを学びます。

日　時　平成22年 2月19日～3月5日(毎週金曜日)
　　18:30～20:30(全3回)
定　員　14名(学生は除く)
受講料　無料(但し、教材費1,000円)
託　児　あり(1歳以上就学前まで) 申込み時にご相談ください。
申込み　1月26日(火)(必着)往復はがきで受付け。
《応募方法》各コース共に往復はがきに、①希望コース ②応募動機 ③住所 ④名前 ⑤電話番号を書いてお送りください。返信用はがきにも住所・氏名を書いてください。

北九州市立東部勤労婦人センター“レディスもじ”
〒800-0051 北九州市門司区下馬寄6番8号
TEL.093-371-4649　FAX.093-371-4268
http://www.k-palace.com/moji/

レディスやはたからのお知らせ

男女共同参画支援講座　メディアリテラシー講演会「様々なメディアの中で…」

テレビなど、情報の世界と上手な付き合い方について

日　時　平成22年 2月6日(土) 13:30～15:30
講　師　古賀 之士氏 (FBS福岡放送編成局アナウンス部エグゼクティブアナンウサー)
対　象　北九州市内在住または在勤の方(中学生以上)
定　員　80名(先着順)
参加費　無料
託　児　あり(1歳以上就学前まで) 申込時にご相談ください。
申込み　ただ今受付中。

男女共同参画支援講座　働く人のための体験交流会「俊介先生の必勝対話力！」

対話力を学ぶ事でポジティブな表現力を身につけます。

日　時　平成22年 2月27日(土)
　　13:30～15:00
講　師　中島 俊介氏
　　(北九州市立大学 地域創生学群教授)
対　象　北九州市内在住または在勤の方(学生は除く)
定　員　30名(先着順)
参加費　無料
託　児　あり(1歳以上就学前まで) 申込時にご相談ください。
申込み　2月3日(水)9時から電話または来館で受付け。

北九州市立西部勤労婦人センター“レディスやはた”
〒805-0059 北九州市八幡東区尾倉ニ丁目6番6号
TEL.093-661-1122　FAX.093-661-2714
http://www.k-palace.com/yahata/

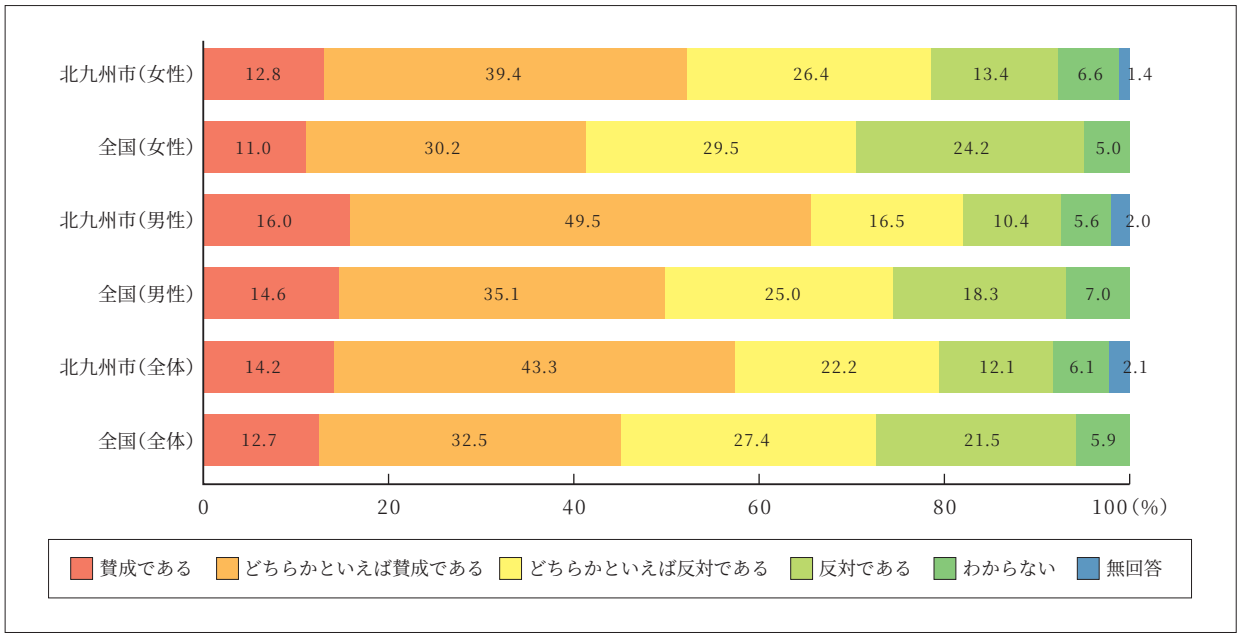
Moving ムービング
2010年1月20日発行（季刊誌） vol.59

ムーブ叢書 ジェンダー白書 別冊『北九州市の男女共同参画統計データ集2008』より

第2章 世帯と家族　4 固定的性別役割分担意識

図23「夫は外で働き、妻は家庭を守る」という考え方について（北九州市、全国）

「夫は外で働き、妻は家庭を守る」に「賛成」は、約6割（全体57.5%、女性52.2%、男性65.5%）
全国は5割を切る（全体45.2%、女性41.2%、男性49.7%）



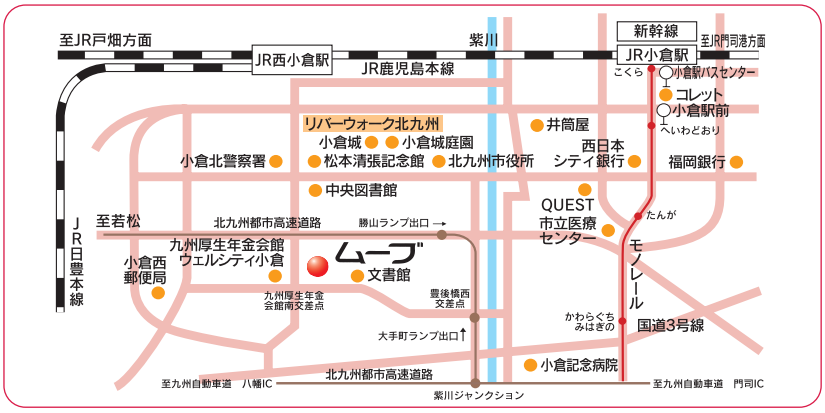
（注）　北九州市（N=1,769）、女性（N=1,036）、男性（N=701）　　全国（N=3,502）、女性（N=1,886）、男性（N=1,616）
（資料）北九州市総務市民局男女共同参画推進部『北九州市の男女共同参画社会に関する調査報告書』（平成17年9月調査）
内閣府大臣官房政府広報室『男女共同参画社会に関する世論調査報告書』（平成16年11月調査）

ムーブ叢書ジェンダー白書別冊『北九州市の男女共同参画統計データ集 2008』ご希望の方は、ムーブ情報課（TEL.093-583-5082）までご連絡ください。

●北九州市立男女共同参画センター／開所日のご案内

編集後記

新年明けましておめでとうございます。
今回は女性の就職支援講座、おとこのライフセミナーなどを取り上げました。その他ムーブでは相談業務、男女共同参画講座、子育て支援講座、パソコン講座、語学講座、フィットネスルーム個人利用、図書業務などを行っています。
今後とも皆様のお手伝いができるよう、スタッフ一同努めてまいります。どうぞ今年もよろしくお願い致します。



北九州市立
男女共同参画センター
ムーブ
〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11番4号
TEL.093-583-3939　FAX.093-583-5107
ホームページアドレス ◆ http://www.kitakyu-move.jp
E-mail ◆ move@move-kitakyu.jp

アクセス●JR西小倉駅より徒歩　約15分
●西鉄バス→「九州厚生年金会館・ムーブ前」下車
小倉駅バスセンター 小倉都心100円周遊バス
27 45 110 134 138
小倉駅前 76 79
●北九州都市高速　勝山ランプ・大手町ランプ出口より約3分

平成18年度から
北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”の指定管理者

Kitakyushu Forum on Asian Women
財団法人アジア女性交流・研究フォーラム

PRINTED WITH SOY INK
この冊子は再生紙及び環境に優しい大豆インクを使用しています。

発行：北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”
〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11番4号 TEL(093)583-3939 FAX(093)583-5107
制作・印刷：株式会社 西鉄エージェンシー　装紙イラスト：中島由紀子